

Freezer-Manager

フリーザーマネージャー

Version 2

データベース移行ツール 操作説明書



日本ブレイディ株式会社

WHEN PERFORMANCE MATTERS MOST™

本書に記載されている情報は契約の対象とはなりません。本書の内容は事前の予告なく変更される可能性があります。

本書に記載されているソフトウェアの使用には、ユーザーライセンス契約の条項が適用されます。本ソフトウェアは、このライセンス契約の条項に準拠する場合を除き、それを無断で使用することは禁止されており、いかなる媒体への複写および複製もできません。

日本ブレイディ株式会社の書面による承諾がない限り、本書のいかなる部分も、複写、複製、転送することはできません(購入者の個人的な使用のみが許されます)。

Copyright© NIPPON BRADY K.K.

All rights reserved

Microsoft、Windows、Access は米国 Microsoft® Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

CODESOFT®は Teklynx International ®の登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標および登録商標です。

データベース移行ツール

FreezerManager Version 2.1 以前で使用していたデータベース (Microsoft® Access) を FreezerManager Version 2.4 用に移行します。

Version2.1用のデータベースはFreezerManager Version2.4では使用できませんのでご注意ください。

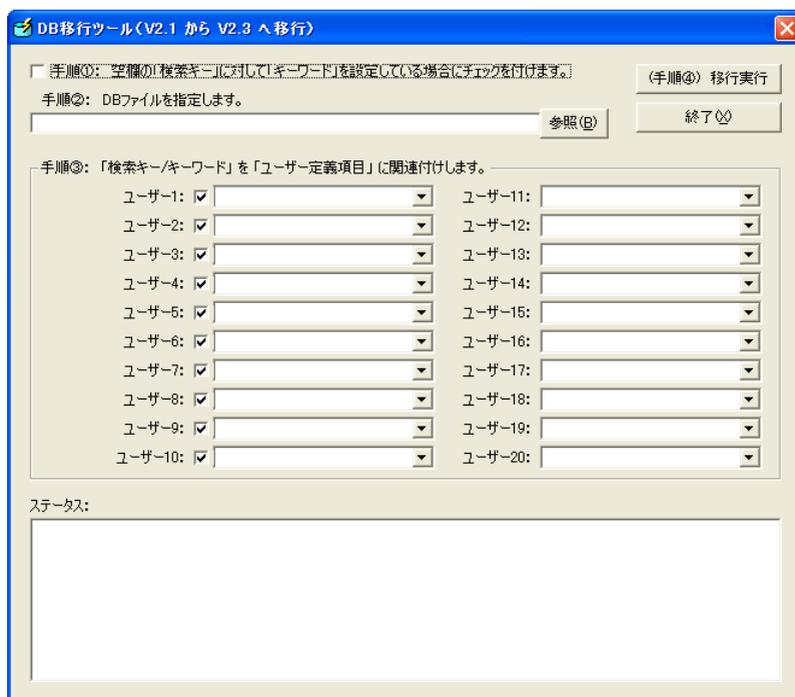
なお、Version2.4で使用するデータベースはVersion2.3と共通です。データベース移行ツール上では「V2.3」と表示されていますが、問題ありません。

データベース移行の前に

サンプル情報の検索キーに設定しているデータが、巻末の「注意事項」に記述されている内容に該当する場合は、予め他の単語に変更する、全角文字に変更する等の修正を行ってからデータベース移行を実行してください。

データベース移行手順

- 1 インストールされた「TrandferDB.exe」をダブルクリックして実行します。
- 2 DB 移行ツールが表示されます。



3 【操作手順①】

現在の FreezerManager のサンプル情報として空欄の「検索キー」に対して「キーワード」を設定している場合は下図オプションにチェックを

付けます。

手順①: 空欄の「検索キー」に対して「キーワード」を設定している場合にチェックを付けます。

 すべてのキーワードに対して検索キーが設定されている場合はチェックする必要はありません。

 空欄の検索キーに対してキーワードを設定している場合にこのオプションにチェックを付けないとそのキーワードは移行されません。

 検索キーおよびキーワードを使用していない場合はチェックする必要はありません。

4 【操作手順②】

データベースファイルを指定します。〈参照〉ボタンをクリックして【DB ファイルの指定】ダイアログを表示して指定します。

手順②: DBファイルを指定します。

データベースファイルはデフォルトでは下記に存在します。

C:\Program Files\FreezerManager\Data\bfm.mdb

- 5 データベースファイルを指定すると、データベースへの接続が行われます。ユーザー定義項目名を変更している場合はその項目名が表示されます。

手順④: 「検索キー/キーワード」を「ユーザー定義項目」に関連付けます。

性別:	<input type="checkbox"/>		ユーザー11:	
採取年月日:	<input type="checkbox"/>		ユーザー12:	
:	<input checked="" type="checkbox"/>		ユーザー13:	
:	<input checked="" type="checkbox"/>		ユーザー14:	
:	<input checked="" type="checkbox"/>		ユーザー15:	
:	<input checked="" type="checkbox"/>		ユーザー16:	
:	<input checked="" type="checkbox"/>		ユーザー17:	
:	<input checked="" type="checkbox"/>		ユーザー18:	
:	<input checked="" type="checkbox"/>		ユーザー19:	
:	<input checked="" type="checkbox"/>		ユーザー20:	

この例ではユーザー定義 1 が「性別」、ユーザー定義 2 が「採取年月日」として使用され、ユーザー定義 3~10 は使用していません。

項目名の右横のチェックボックスはそのユーザー定義項目が使用できることを表しています。

チェックボックス右横のコンボボックスには現在使用されている「検索キー」がリストされています。

<input checked="" type="checkbox"/>	
TBL1-2 ((採取地))	
TBL2-2 ((血液型))	
TBL3-2 ((組織名))	

この例では検索キー1 に「採取地」、検索キー2 に「血液型」、検索キー3 に「組織名」が登録されています。



「TBLx」は「キーワード x」を表しています。その横の枝番は項目番号を表しています。括弧内はそのキーワードデータです。

従って、「TBL1-2 ((採取地))」は「キーワード 1」の「2」番目の項目の「採取地」ということになります。

6 ユーザー定義と検索キーを関連付けます。

 検索キーおよびキーワードを使用していない場合は必要ありません。
7に進んでください。

下の例では、ユーザー定義3に検索キー1の「採取地」、ユーザー定義4に検索キー2の「血液型」、ユーザー定義5に検索キー3の「組織名」を関連付けしています。

手順③: 「検索キー/キーワード」を「ユーザー定義項目」に関連付けます。

性別:	<input type="checkbox"/>		ユーザー11:	
採取年月日:	<input type="checkbox"/>		ユーザー12:	
	<input checked="" type="checkbox"/>	TBL1-2 (採取地)	ユーザー13:	
	<input checked="" type="checkbox"/>	TBL2-2 (血液型)	ユーザー14:	
	<input checked="" type="checkbox"/>	TBL3-2 (組織名)	ユーザー15:	
	<input type="checkbox"/>		ユーザー16:	
	<input type="checkbox"/>		ユーザー17:	
	<input type="checkbox"/>		ユーザー18:	
	<input type="checkbox"/>		ユーザー19:	
	<input type="checkbox"/>		ユーザー20:	

また、使用しないユーザー定義はチェックを外しておきます。

なお、操作手順①のオプションにチェックをつけた場合、リストには下図のように検索キーが表示されます。



- TBL1-0 ((非選択))
- TBL1-1 (())
- TBL1-2 (採取地)
- TBL2-0 ((非選択))
- TBL2-1 (())
- TBL2-2 (血液型)
- TBL3-0 ((非選択))
- TBL3-1 (())

- ・「TBLx-0 ((非選択))」はキーワード x の非選択項目
- ・「TBLx-1 (())」はキーワード x に登録されている空欄データ

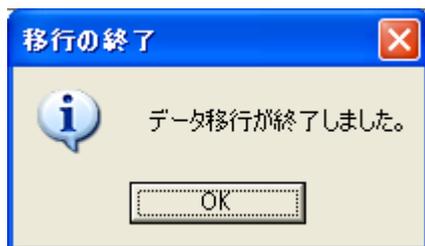
この内容のすべてを関連付けると下図のようになります。

手順⑨: 「検索キー/キーワード」を「ユーザー定義項目」に関連付けします。

性別:	<input type="checkbox"/>		ユーザー11:	TBL3-2 (組織名)
採取年月日:	<input type="checkbox"/>		ユーザー12:	TBL4-0 (非選択)
	<input checked="" type="checkbox"/>	TBL1-0 (非選択)	ユーザー13:	TBL4-1 (〇)
	<input checked="" type="checkbox"/>	TBL1-1 (〇)	ユーザー14:	TBL5-0 (非選択)
	<input checked="" type="checkbox"/>	TBL1-2 (採取地)	ユーザー15:	TBL5-1 (〇)
	<input checked="" type="checkbox"/>	TBL2-0 (非選択)	ユーザー16:	
	<input checked="" type="checkbox"/>	TBL2-1 (〇)	ユーザー17:	
	<input checked="" type="checkbox"/>	TBL2-2 (血液型)	ユーザー18:	
	<input checked="" type="checkbox"/>	TBL3-0 (非選択)	ユーザー19:	
	<input checked="" type="checkbox"/>	TBL3-1 (〇)	ユーザー20:	

7 <移行実行>ボタンをクリックします。

8 下記のメッセージが表示されたら、移行は完了です。



DB 移行ツールの<終了>ボタンをクリックして DB 移行ツールを終了してください。

なお、実行時には同じフォルダ内にデータベースファイルのバックアップがとられます。

(バックアップファイル名 = ファイル名 + YYMMDD.mdb)

注意事項

ユーザー定義項目に使用できない文字、単語

下記の文字、単語はユーザー定義項目のタイトルに使用できませんのでご注意ください。

◆ 文字（全て半角）

- ・スペース
- ・アポストロフィ (')
- ・番号記号 (#)
- ・等号 (=)
- ・感嘆符 (!)
- ・波かっこ ({ または })
- ・アスタリスク (*)
- ・ピリオド (.)
- ・コロンの (:)
- ・キャレット (^)
- ・正符号 (+)
- ・スラッシュ (/)
- ・二重引用符 (")
- ・アクセント記号 (´)
- ・パーセント記号 (%)
- ・不等号 (>または<)
- ・角かっこ ([または])
- ・丸かっこ ((または))
- ・ドル記号 (\$)
- ・セミコロン (;)
- ・疑問符 (?)
- ・チルダ (~)
- ・負符号 (-)
- ・バックスラッシュ (\)

◆ 単語（全て半角）

AS	ASC	ASSERTION
AT	AUTHORIZATION	AVG
BEGIN	BETWEEN	BIT
BIT_LENGTH	BOTH	BY
CASCADE	CASCADED	CASE
CAST	CATALOG	CHAR
CHARACTER	CHAR_LENGTH	CHARACTER_LENGTH

CHECK	CLOSE	COALESCE
COLLATE	COLLATION	COLUMN
COMMIT	CONNECT	CONNECTION
CONSTRAINT	CONSTRAINTS	CONTINUE
CONVERT	CORRESPONDING	COUNT
CREATE	CROSS	CURRENT
CURRENT_DATE	CURRENT_TIME	CURRENT_TIMESTAMP
CURRENT_USER	CURSOR	DATE
DAY	DEALLOCATE	DEC
DECIMAL	DECLARE	DEFAULT
DEFERRABLE	DEFERRED	DELETE
DESC	DESCRIBE	DESCRIPTOR
DIAGNOSTICS	DISCONNECT	DISTINCT
DOMAIN	DOUBLE	DROP
ELSE	END	END-EXEC
ESCAPE	EXCEPT	EXCEPTION
EXEC	EXECUTE	EXISTS
EXTERNAL	EXTRACT	FALSE
FETCH	FIRST	FLOAT
FOR	FOREIGN	FOUND
FROM	FULL	GET
GLOBAL	GO	GOTO
GRANT	GROUP	HAVING
HOURL	IDENTITY	IMMEDIATE
IN	INDICATOR	INITIALLY
INNER	INPUT	INSENSITIVE
INSERT	INT	INTEGER

INTERSECT	INTERVAL	INTO
IS	ISOLATION	JOIN
KEY	LANGUAGE	LAST
LEADING	LEFT	LEVEL
LIKE	LOCAL	LOWER
MASK	MATCH	MAX
MIN	MINUTE	MODULE
MONTH	NAMES	NATIONAL
NATURAL	NCHAR	NEXT
NO	NOT	NULL
NULLIF	NUMERIC	OCTET_LENGTH
OF	ON	ONLY
OPEN	OPTION	OR
ORDER	OUTER	OUTPUT
OVERLAPS	PAD	PARTIAL
POSITION	PRECISION	PREPARE
PRESERVE	PRIMARY	PRIOR
PRIVILEGES	PROCEDURE	PUBLIC
READ	REAL	REFERENCES
RELATIVE	RESTRICT	REVOKE
RIGHT	ROLLBACK	ROWS
SCHEMA	SCROLL	SECOND
SECTION	SELECT	SESSION
SESSION_USER	SET	SIZE
SMALLINT	SOME	SPACE
SQL	SQLCODE	SQLERROR
SQLSTATE	SUBSTRING	SUM

DB 移行ツール

SYSTEM_USER	TABLE	TEMPORARY
THEN	TIME	TIMESTAMP
TIMEZONE_HOUR	TIMEZONE_MINUTE	TO
TRAILING	TRANSACTION	TRANSLATE
TRANSLATION	TRIM	TRUE
UNION	UNIQUE	UNKNOWN
UPDATE	UPPER	USAGE
USER	USING	VALUE
VALUES	VARCHAR	VARYING
VIEW	WHEN	WHENEVER
WHERE	WITH	WORK
WRITE	YEAR	ZONE

FreezerManager DB 移行ツール 操作説明書

発行 :  **BRADY** 日本ブレイディ株式会社
WHEN PERFORMANCE MATTERS MOST™

Printed in Japan

Copyright© NIPPON BRADY K.K.

